デュオよこすか便り

デュオよこすかで活動している登録団体をご紹介します

第7回 クロスロード

「クロスロード」は、NPO法人横須賀国際交流協会が横須賀市から委託を受けて行っている「日本語会話サロン」の実施団体の一つで、外国人に日本語を教えています。

活動は毎週金曜日の10時30分から12時まで、総合福祉会館内の研修室で対話形式の日本語会話サロンを開いています。また、イチゴ狩りなど時期に即した交流会も行っているそうです。

現在、日本人講師は10名（男性３名、女性７名）が登録しており、日本語を教えることを通じて国際理解を深めています。受講者の国籍は、フィリピン、中国、アメリカ、ドイツ、スペインなどさまざまで、その男女比は、講師と同様に女性が大半を占めているとのことです。

取材で参加させていただいた料理教室では、和気あいあいとした雰囲気の中、日本の食文化に触れると同時に、男性と女性が一緒に料理を作ることを通じて、男女共同参画についても自然な形で考える機会になっていると感じました。

代表の方にお話を伺ったところ「受講する外国人に対して、“楽しく、わかりやすく、ためになる”レッスンができるよう、そして、継続的に来てもらえるように、これからも活動を続けていきます。」と語ってくれました。

クロスロードや日本語会話サロンに関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

◆◆◆ NPO法人横須賀国際交流協会 ◆◆◆
TEL 046-827-2166

相談室コーナー

『デュオよこすかは女性のための相談室』では、女性が日頃から抱える人間関係や生活上の悩みについて、女性相談員がご相談に応じています。

第８回 DV・暴力のない社会をめざして

ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）は「自分に関係ないこと」と思っていませんか。

ＤＶと言うと、殴る蹴るなどの身体的暴力をイメージするため、相談者の中には自分がＤＶを受けていることに気付いていない方もいらっしゃいます。しかし、行動を細かくチェックしたり、外出などを制限したり、無視したりすることもＤＶなのです。（表１参照）

内閣府の調査によると、ＤＶ被害者は圧倒的に女性が多いのですが、最近では男性の被害者も増えてきています。そのため、神奈川県には男性専用のＤＶ相談窓口が開設されました。（県相談窓口の表 ＊印）

ＤＶは個人的な問題だからと一人で悩んだり、諦めたりしていると、より深刻化してしまいます。早い段階での対応が大切ですので、市や県の相談機関や警察の窓口にご相談ください。

（表１）DVの形態

身体的暴力	殴る／蹴る／首を絞める／髪を持って引きずり回す／包丁で切りつける　など
精神的暴力	暴言／脅す／無視する／家から締め出す／子どもに危害を加えると脅す　など
性的暴力	性行為を強要する／避妊に協力しない　など
経済的暴力	生活費を渡さない／働くことを妨げる　など
社会的暴力	外出や、親族・友人との付き合いを制限する／メールや電話を禁止し交友関係を監視する　など

■横須賀市の相談窓口　※年末年始除く

相談機関	電話番号	相談日・相談時間
デュオよこすか 女性のための相談室	046-828-8177（面接は要予約）	月・水・金 9時～16時
女性のためのＤＶ相談（こども青少年支援課）	046-822-8307（面接は要予約）	月～金　祝日除く 10時～16時

■神奈川県の相談窓口（平成27年4月以降）　※年末年始除く

相談機関	電話番号	相談日・相談時間
配偶者暴力相談支援センター	0466-26-5550 0466-26-5551（面接は要予約）	祝日除く 9時～21時 土日は17時まで
多言語による相談	050-1501-2803（面接は要予約）	月～土　祝日除く 10時～17時
＊男性被害者相談	0570-033-103（面接は要予約）	月～金　祝日除く 9時～21時
＊ＤＶに悩む男性のための相談	0570-783-744（面接は要予約）	月・木　祝日除く 18時～21時
女性への暴力相談 週末ホットライン	045-451-0740	土日 17時～21時 祝日 9時～21時

■緊急時！身の危険を感じたら
110番（もしくは最寄りの警察署へ）

✨輝く女性がつくるモノ✨

横須賀から「なでしこブランド」が認定されました

「神奈川なでしこブランド」とは、県内の企業などから女性が開発に貢献した商品を募集し、優れたものを神奈川県が認定する取り組みです。今年が２回目で、横須賀市から２つの商品が認定を受けました。

今回、認定を受けた２つの商品の開発に携わられた女性の方々にインタビューを行いました。

前回も認定を受けた大草薬品株式会社の商品が、今回も認定されました。

社長の大草貴之さんと開発課長の阿部和美さんにお話を伺いました。

開発課の阿部さん（右）と野田さん

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

今回認定を受けた「オーラケア」は社内アンケートでの意見をもとに女性社員が開発した口腔ケアタブレットです。見た目はミントタブレットに似ていますが、歯周病菌の増殖を抑制し、歯磨きを補助する効果があります。歯周病や口臭が気になる方はもちろん、震災等で水が使用できない場合にも使っていただけます。また、刺激がないため、幼児や介護が必要な方にも適しています。

２度目の認定ということもあり、さまざまな形で商品に関するお問い合わせや反響を多数いただいており、社内の士気も高まっているのを感じます。

商品コンセプトやデザインには、自分だけでなく一緒に生活している周りの人たちのことをよく考えている女性ならではの視点を多分に反映しています。ブランド認定は女性目線の商品開発をしていく中での一つの成果として大変励みになりますし、今後も挑戦していきたいです。

今回初めての応募で、認定を受けた「ヨコスカミートマルシェ Koshikiya」の古敷谷美津江代表にお話を伺いました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

今回認定を受けた「ヨコスカMシュウマイ」は、横須賀の新しいお土産を作ろうと、女性スタッフがチームを作って開発しました。

女性は食べ物のおいしさはもとより食の安心安全や素材の良さに対して非常に意識が高いため、その点は特に気を遣いました。肉の卸問屋のシュウマイにふさわしくなるよう、大粒でボリューム感を出し、義母から伝えられた味をもとに肉のうまみを最大限に引き出しながら、味付けにも工夫を凝らしました。

百貨店の催事販売でも大変好評でした。全て手作りのため現在は系列店だけでの販売です。地元横須賀の皆さんに、美味しいものをたくさん食べていただきたいという気持ちでがんばっています。

今回の開発にあたっては、女性ならではのアイデアや気配りなど、女性の大きな力を感じることができました。

男女共同参画市民サポーター募集

望ましい男女共同参画社会を実現するために、日頃感じている問題を出し合って、一緒に考えていきましょう。
年に２回程度の会議と、有志による実践活動を行っています。
皆さんのアイデアが形になるかもしれません。

問い合わせ先は横須賀市人権・男女共同参画課
電話　０４６－８２２－８２２８
メール　we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

デュオよこすか

デュオよこすかは、男女共同参画を推進するための施設です。交流の場、出会いの場、情報収集の場としてご利用ください。

〒238-0041 横須賀市本町２－１（総合福祉会館５階）
☎ 046－822－0804
開館時間　月曜日～土曜日＝９時～20時
　　日曜日＝10時～17時
休 館 日　12月29日～１月３日（臨時休館あり）

◎この広報紙は10,000部作成し、1部あたりの印刷経費は18.47円です。
◎この広報紙は、グリーン購入法に基づく平成26年度横須賀市グリーン購入調達方針の判断基準を満たす紙を使用し、カフ、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料（Ａランク）のみを用いて作成しています。
リサイクル適性Ⓐ

エコライフ　←　意識をすれば、必ず変わる　→　男女共同参画

男女共同参画社会に向けて
　みんなが集う明るい地域に輝く女性たち　1～3ページ
　取材を終えて　4ページ
デュオよこすか登録団体　5ページ
相談室コーナー
～輝く女性がつくるモノ～
横須賀から「なでしこブランド」が認定されました　6ページ

ニュー ウェーブ
New Wave
平成27年（2015年）３月発行
38号

横須賀市 市民部 人権・男女共同参画課
〒238-8550 横須賀市小川町11番地
☎046-822-8228
E-mail：we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp
H　P：http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2420/gender/index.html

男女共同参画社会に向けて

みんなが集う明るい地域に輝く女性たち

～女性会長による町内活性化の鍵は男女共同参画～

横須賀市には、364の町内会・自治会がありますが、女性の会長として25名の皆さんが活躍されています。女性会長の比率は７％弱であり、まだまだ少数です。

そのような状況のなか、女性の会長は地域住民をまとめ、地域を先導していくという難しい役割をどのように担っているのでしょうか。

今回は、４名の女性会長にご協力いただき、町内会・自治会の運営や地域における男女共同参画の現状などについて話を伺いました。

Q. 会長を引き受けた経緯をお聞かせください

今の町内に住んで40年余り、輪番制で班長になったことから町内会活動に参加し、婦人部や母親クラブなど主に子育てを通して地域と関わってきました。役員会の司会役の副会長でしたが、男性会長が任期途中で亡くなり、副会長の私が会長を引き継ぎました。

現在住んでいる町内で生まれ育ち、母親クラブの会長を20年務め、婦人防火クラブ設立など地域で活動してきました。町内の商店の閉店が続き、住民の交流も途絶えがちで役員の引き受け手が少なくなり、町内会が危機に陥った際の選挙で、会長に推され、迷わず引き受けました。

今回インタビューを受けてくださった４名の方々は、みなさん横須賀で生まれ育った70歳代です。

今の町内に住んで50年余り、子ども推進委員をはじめ、民生委員や観光協会の役員、町内会の会計などを務めてきました。男性会長が亡くなり、当時、副会長であった私が後を引き継いで以来、任期を更新して現在に至っています。

今の町内に住んで40年余りです。副会長として二人の男性会長を支えてきたところ、前任の会長が病に倒れた際に、会長にと声をかけられ、一度は辞退したのですが、前任者に依頼された夫が自分も協力するからと言ってくれたので引き受けました。

2面～4面をご覧ください。